
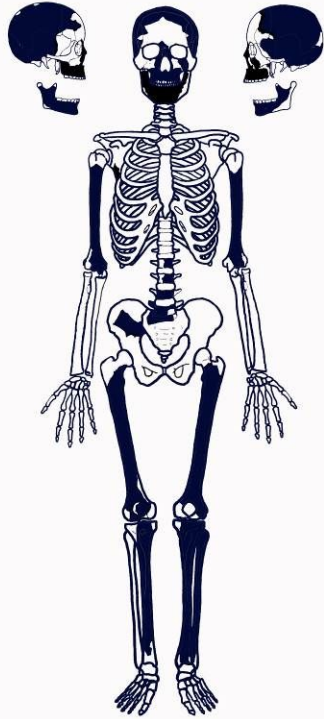



研究機関名	青森中央学院大学				
プログラム名	発掘人骨を鑑定してみよう！～骨から広がる古病理の世界～				
先生(代表者)	藤澤珠織(ふじさわしおり)・看護学部・准教授				
自己紹介	<p>看護を学んだあと、考古学の道へ進み、現在はその延長である人類学を専門に研究しています。</p> <p>発掘人骨から得られる代表的な情報には、性別や死亡時の年齢、身体的特徴の他、加齢性病変や過重労働、感染症、癌、外傷、障がい等があります。「ひとりでは生きられないほどの病変」が残る人骨に「長生きの証拠」があれば、「身近な人の看護・介護を受けていた」ことがわかります。このように、人骨から当時の社会の在り様に迫る研究を目指しています。</p>				
開催日・募集対象	2021年 9月 25日(土)	受講対象者	中学3年生 ～ 高校3年生	募集人数	15名
集合場所・時間	青森中央学院大学 2号館 1階		(集合時間)	9:40	
開催会場	青森中央学院大学 2号館 住所: 〒030-0132 青森県青森市横内神田 12番 アクセスマップ URL: <a href="http://www.aomoricgu.ac.jp/access/">http://www.aomoricgu.ac.jp/access/</a>				
内 容					
	本講義では、人骨の鑑定手法を講義と演習で学びます。 (1)人骨を鑑定する上で必要な骨の解剖生理学 (2)人骨の鑑定手法と、そこからわかる情報 (3)骨格モデルや発掘人骨を用いた骨の鑑定 性別判定 死亡年齢推定 疾患の判定				
	初めに骨格模型を用いて骨の形、位置関係ほか、基本事項を整理します。次に鑑定の指標について、画像資料で具体的に学びます。その後、本物の人骨を観察しながら性別判定、死亡年齢推定を行います。判定の根拠は皆で話し合い、蓋然性の高さを追求します。最後に、古病理学的指標に基づき疾患の判定を行います。最終的な鑑定結果から、どんな人物像が浮かびあがるでしょうか。				
					

持ち物	特記事項
筆記用具	人骨に触れるときには本学で準備するマスク、手袋、使い捨てエプロンを使用します。
スケジュール	
<p>9:40～10:00 受付(青森中央学院大学2号館1階集合)</p> <p>10:00～10:20 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)</p> <p>10:20～11:00 講義 「人骨研究に必要な人体解剖生理学～骨学を中心に～」</p> <p>11:00～11:15 休憩</p> <p>11:15～12:00 演習 「人骨スケッチ:形、穴、出っ張りの意味を考えよう」</p> <p>12:00～13:00 昼食・休憩(大学)</p> <p>13:00～13:30 講義 「人骨鑑定の方法」</p> <p>13:30～13:45 休憩</p> <p>13:45～14:30 演習 「発掘人骨を観察し、古病理学的鑑定をしよう」</p> <p>14:30～14:40 休憩</p> <p>14:40～15:10 ディスカッション</p> <p>15:20～15:40 修了式(アンケート記入・未来博士号授与)</p> <p>15:40 終了・解散</p>	

課題番号	21HT0038	分野	生物・医歯薬学	キーワード	人骨、人類学、古病理学
------	----------	----	---------	-------	-------------

## 《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	青森中央学院大学 研究支援・地域連携課 佐藤菜穂子
住所	青森県青森市横内神田12
TEL 番号	017-728-0131
FAX 番号	017-738-8333
E-mail	kenkyushien@aomoricgu.ac.jp
申込締切日	2021年9月3日(金)
当プログラムは先着順にて受付を行います。	

## 《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2016年度 ~ 2019年度	基盤研究(C) (一般)	16K02042	発掘人骨のストレスマーカーに見える性別役割



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000070595694>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。